

┌┌┌┌  
┌┌┌┌  
┌┌┌┌  
┌

♪ジョイコン NEWS♪

第37号 2019年8月1日

先月11日、日本の小惑星探査機「はやぶさ2」が、小惑星「リュウグウ」への2回目のタッチダウンを行ない、人工クレーターから惑星内部の試料採取に見事成功したという明るいニュースがありました。  
有機物を含むことが実証されれば、これらが隕石として地球に落ち生命の起源に寄与したという仮説が成立し、生命誕生の謎に迫ることができるだけに、世界初となる快挙です。来年末の地球帰還が待たれます。

それでは、「♪ジョイコン NEWS♪」(第37号)をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
  - ◆第41回コンサート
- 【2】 今後の予定(先取り情報)
  - ◆第42回コンサート
  - ◆第43回コンサート
- 【3】 コンポーザー・ヴァイオリニスト(ヴァイオリニスト兼作曲家)
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■第41回コンサート■■

- ◇2019年9月15日(日曜日)  
14:00開演(13:30受付開始)
- ◇出演:戸澤采紀(ヴァイオリン)、鳥羽亜矢子(ピアノ)
- ◇プログラム(予定)
  - ◆チャイコフスキー:ワルツ・スケルツォ ハ長調 作品34
  - ◆バッハ:無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第2番 二短調 BWV1004
  - ◆ブロッホ:バール・シェムより「ニーゲン」
  - ◆クライスラー:レチタティーヴォとスケルツォ・カプリース 作品6
  - ◆イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調 作品27-2
  - ◆サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ
- ◇料金:大人・高校生2,000円、中学生以下1,000円
- ◇会場:大倉山記念館ホール

第41回ジョイフルコンサートは『戸澤采紀 ヴァイオリン リサイタル～バッハとヴィルトゥオーゾの饗宴』と題して、お届けします。

\*\*\*\*\*  
メッセージが届いています

\*\*\*\*\*

初めまして、大倉山ジョイフルコンサートに出演させて頂く戸澤采紀です。  
タイトルの通り、バッハの大曲パルティータ第2番と、ヴィルトゥオーゾ・ピース(技巧を魅せる曲)でプログラミングしました。  
楽しんでいただけるよう、頑張ります。(戸澤采紀)

\*\*\*\*\*

今回のジョイフルコンサートは戸澤采紀さんのヴァイオリンリサイタルです。  
去年演奏を聴かせて頂きましたが、小柄な体からとてもダイナミックな演奏で素晴らしいテクニックに圧倒されました。どうぞお楽しみになさってください。

☆イザイ/無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調 作品27-2

●ウジェーヌ・イザイ

イザイはベルギー出身のユダヤ人ヴァイオリニストで作曲家です。当時の多くの演奏家達が「イザイ詣で」をしたそうです。それほどイザイは豊かな音色を奏でるヴァイオリニストで、彼の演奏はまるでオーケストラのような音がしたと言われたそうです。

イザイは5歳の頃から父親からヴァイオリンの指導を受けました。地元のリエージュ音楽院に進みます。しかし音楽院と合わなくて不登校のような状態があったそうです。

ある日当時の名ヴァイオリニストアンリ・ヴュータンが歩いていた時に自分の曲を誰かが演奏しているのを聴き、しかもそれが余りにも素晴らしくて衝撃を受け、家まで訪ねて行って誰の演奏なのかを聞いたそうです。それがイザイの演奏と知り、また音楽院で学べるように便宜を図り、イザイの指導も行ったそうです。やはりそれだけ超人的な才能を持っていたということなんではなかろうか？

卒業後ベルリンフィルの前身であるベンヤミン・ビルゼの楽団でコンサートマスター、ソリストとして活動し、クララ・シューマン、リスト、ルービンシュタイン等とも親しくしていたそうです。その後ブリュッセルの音楽院の教授に就任し、後進を指導しました。

没後イザイを記念した「イザイコンクール」が開催され、それが現在のエリザベート王妃国際コンクールになっています。

●無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調 作品27-2

イザイはバッハの無伴奏ヴァイオリン・ソナタを聴いて、自分も全6曲の無伴奏ヴァイオリン・ソナタを書いています。

2番はフランス人ヴァイオリニストジャック・ティボーに献呈されました。全4楽章からなり、グレゴリオ聖歌の「怒りの日」が主題に用いられています。

「怒りの日」はキリスト教でキリストが過去を含めたすべての人間を地上に復活させ審判し、天国に行く者と地獄に行く者を選別する日とされています。このグレゴリオ聖歌の「怒りの日」は他にもリストの「死の舞踏」など「死」を表す曲に引用されています。

以前千住真理子さんがイザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏したのを聴いたことがあります。聴いていてもとても難しかった記憶があります。

テーマも重たい難曲ですがどうぞじっくりお聴きください。(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

---

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

---

■■第42回コンサート■■

◇2019年11月17日（日曜日）

◇出演：熊谷俊之（ギター）、堀雅貴（マンドリン）

◇プログラム（予定）

◆シューベルト（メルツ編）：涙の賛美

◆ヴィラ＝ロボス：ブラジル民謡組曲より

- ◆アルトホフ： 舞踏への夢
- ◆ジュリアーニ： 協奏的大二重奏曲
- ◆ピアソラ： タンゴの歴史より「ボルデル 1900」  
他

★予約受付開始： 2019年9月16日（月曜日）午前9時より

■■第43回コンサート■■

◇2020年1月19日（日曜日）

◇出演： 黒田鈴尊（尺八）

【3】コンポーザー・ヴァイオリニスト（ヴァイオリニスト兼作曲家）

私達がタルティーニ、パガニーニ、イザイ、サラサーテ、クライスラーなどの名前を聞いて思いうかべるのは「作曲家」ではないでしょうか？  
もちろん作曲した曲もすばらしいのですが、彼らは超一流のヴァイオリニストでもありました。

今は作曲家と演奏者は分業化していることが多いのですが、昔はコンポーザー・ヴァイオリニストという人がたくさんいて、それがあたりまえという時代が何百年も続いていました。コンポーザー・ヴァイオリニストの起源はアルカンジェロ・コレッリ（1653～1713）らしいです。

コレッリといえば、『ラ・フォリア（ソナタ 二短調 作品5-12）』が有名ですが、1700年にソナタを出版して、それが18世紀の100年間で50回も重版されたそうです。全ヨーロッパのヴァイオリン音楽のお手本で、多分バッハもヘンデルもコレッリの背中を見て育ってきていると思われまます。

コンポーザー・ヴァイオリニストの最後のスターはフリッツ・クライスラー（1875～1962）です。クライスラー以降に作曲家と演奏者が分業化してしまったようです。クライスラーの演奏家としての全盛期は1910年から20年代といわれていて、当時、チャップリンにも匹敵するほど熱狂的な人気があったそうです。クラシックの音楽家でそこまで人気があるのは異例です。クライスラーは演奏家としての活動の方がメインでした。作曲は趣味みたいなもので、軽い感じの曲が多いのですが、すごく楽しんで書いたのだらうなという雰囲気伝わってきます。因みにクライスラーは1923年の48歳の時に来日しています。帝国劇場で8日連続のリサイタルを行い、毎日違った曲のプログラムで、それを全部暗譜で弾いたそうです。

イザイやクライスラーは、作曲だけでなく他の作曲家のヴァイオリン協奏曲のカデンツァも書いています。「カデンツァ」とは、協奏曲で第1楽章（終楽章の場合もある）の終りに独奏者が無伴奏でテクニックを披露する華やかな部分です。モーツァルトやベートーヴェンの時代には、作曲家が演奏者に「ごくろうさま」という意味で、ここは演奏者が自由に即興で弾いていいことになっていました。しかし、だんだんと演奏者がエスカレートして、自分の超絶技巧をひけらかすように派手になって、協奏曲本体とのバランスが崩れるようになってきました。そこでロマン派以降の作曲家は、カデンツァ部分も楽譜に書き記すようになり、作曲家が書き残していないものには、19世紀のヴァイオリニストたちがカデンツァを書きました。

イザイはヴィオッティ、モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームス、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲のカデンツァを、クライスラーもベートーヴェンやブラームスのヴァイオリン協奏曲のカデンツァを書いています。このように1つの協奏曲に異なるカデンツァが複数ついているので、現在、演奏家はいくつかあるカデンツァの中から選んで演奏しているそうです。（のん）

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（7月21日公演）

『務川慧悟ピアノリサイタル～大人の世界、子供の世界』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」が62%、「良かった」が13%  
(残りは「無回答」25%)で、今回もとても好評でした。

自由記入欄(ご感想など)には、

『有名な作曲家の中でも、今まで余り聴いたことのない曲が多く、また大人の世界、子供の世界というめずらしいテーマで大変楽しめました』『素晴らしい一言に尽きる。ピアノ一台がオーケストラ並みの世界をつくる。お話しも実に良かったと思います』『よく響く素敵なホールです、ピアノも素敵な音です。務川さんはどんなにフォルテでもあたたかい音ですきです』など率直な感想が寄せられました。

また、『面白いプログラムで大変満足です。今後もぜひドイツ音楽も勉強されてレパートリーが増えるのを楽しみにしております』『子供の情景では1～13の題名がイメージできました。4つの小品では、なめらかでとてもきれいでした』『務川さんが編曲されたマ・メール・ロアがとっても良かったです。すてきでした。まさに連弾→オケ→の後にできたソロのようでした』など、好意的メッセージが数多く寄せられました。

一方、『空調の騒音が気になりました』や『ピアノ椅子のきしむ音が残念!』との苦情も複数の方から頂きました。記念館の担当者にも報告し、気持ちよくコンサートを楽しんで頂けるよう主催者として対応して参りたいと思います。

アンケート回収数：51(回収率64%)

---

#### 【編集後記】

---

梅雨明けとともに、真夏日や猛暑日が続くようになりました。

こういう暑い日が続くと、何故か以前に観た「天才」カラスの動画を思い出してしまいます。動画には、クチバシで水道の栓を上手に回して「水飲み」と「水浴び」を使い分ける様子が映っています。ただし、再び栓を回して水を止めることまではしないそうです。“マナー”はまだまだですね…。

それでは、暑い夏を乗り切っていきましょう。(お)

(参考動画) <https://digital.asahi.com/articles/ASM3161QTM31ULBJ00W.html>

---

※このメールマガジンは、  
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で  
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込みはこちら  
ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>  
予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー  
メールマガジンのバックナンバー(PDFファイル)はこちら  
ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止/アドレス変更  
メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら  
[info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

.....  
発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会  
Eメール [info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)  
携帯電話 080-8424-5108  
URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>  
.....